

モニタリングレポート(令和3年度)

施設名	伊勢型紙資料館				
施設所在地	鈴鹿市白子本町21番30号				
指定管理者名	伊勢型紙技術保存会				
評価担当課	文化財課	問合せ先	059-382-9031		
施設の運営状況	(確認方法)月次報告書及び年度事業報告書				
開館日数	224日	総利用者数	3,989人	1日当たりの利用者数	17人
開館時間	午前10時から午後4時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	1,552,000	1,552,000	0		
雑収入(前年度繰越金)	0	36,199	36,199		
雑収入(利子)	0	7	7		
収入計	1,552,000	1,588,206	36,206		
人件費	1,350,000	1,316,352	▲ 33,648		
消耗品費	7,000	6,790	▲ 210		
委託費	120,000	0	▲ 120,000		
保険料	40,000	32,350	▲ 7,650		
修繕費	35,000	70,400	35,400		
支出計	1,552,000	1,425,892	▲ 126,108		
収支	0	162,314	162,314		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	適切に履行されている。
	現地調査	○	適切に履行されている。
	定例報告会	○	適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	良	任意アンケートから概ね満足の回答を得ている。
	現地調査	良	衛生・景観面ともに良好な状態が保持されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	—	
	損益計算書	—	利益を求める団体ではない
	キャッシュフロー計算書	—	
	年度事業報告書(事業収支表)	○	確認事項は問題なし。
	その他財務諸表等	○	確認事項は問題なし。
年度業務報告書の内容評価			○適・不適
業務の履行, サービスの質, 業務遂行能力, いずれの点においても概ね良好である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○適・不適
上半期・下半期で各1回, 報告会を実施し, 質疑応答及び課題共有を図った。			
緊急時の対応評価			○適・不適
特段の緊急事態発生はみられなかったが, 取材等の申出が多い施設であり, 対応には高度な知識が求められる。今後も報告・連絡・相談の徹底を図るよう確認した。			
指定管理者の総括評価			○適・不適
伊勢型紙の高度な彫刻技術を有する団体であり, 毎年行われている企画展や毎月第4日曜日に実施されている彫刻実演は, 本団体にしかできない事業である。その強みを活かした更なるサービス向上に期待する。			
施設の課題と対策			
新型コロナウイルス感染症対策について, 引き続き対応いただきたい。 旧伊勢街道に近く, 公共交通機関においても, 便利な場所に位置することから, 鉄道事業者や旅行会社等との連携を強化し, 来館者数の増加に努めていただきたい。			
施設の方向性			
通用門扉の修繕を行った。 伝統的な木造建造物であり, 市の指定文化財(史跡)となっているため, その維持には難点も多いが, 施設へのニーズは高く, 不可欠な施設であるため, 今後も維持していく方針である。			